

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		養護老人ホーム建設費補助				所管	福祉部 高齢福祉課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区老人福祉施設等施設整備費及び設備整備費補助要綱				
	事業対象	直接の対象:社会福祉法人 有隣協会 最終的な対象:養護老人ホーム入所者							
	事業目的	養護老人ホーム千寿苑(荒川区)の整備に要する費用の一部を補助することにより、ホームの整備を促進し、もって老人福祉の向上を図る。							
	事業内容	養護老人ホームの基盤整備の一環として、当該法人が建設する同施設に建設費の補助を行うことにより、台東区民の利用優先枠を確保する。(ベッド確保)							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	対象法人数 (法人)		1	1	1	1		
	成果指標	確保ベッド数 (床)		43	43	43	43		
	決算額 (単位:千円)				5,464	5,464	5,464		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			360	333	256		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			5,464	5,464	5,464		
		総経費			5,824	5,797	5,720		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0				
一般財源(区負担額)			5,824	5,797	5,720				
前年度から改善した事項		確保ベッド数に変動はなく、引き続き適正に執行されている。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	高齢者人口の増加に伴い、引き続き高いニーズが見込まれる。						
	効率性	3	事業コストに変化はないものの、事業の効果は大きい。						
	手段の適切性	3	老人福祉の向上を図り、区民の優先枠を確保する上で有効な手段である。						
	目的達成度	4	継続して確保したベッドは、区民の優先枠として利用されていることから、事業目的は十分に達成されている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
老人福祉の向上を図り、区民の優先枠を確保する上で有効な手段であることから、今後も確保ベッド数を維持していく必要がある。							維持		